

あなたが私の命を奪ってくれるなら

■キャスト

直輝（なおき）

三咲（みさき）

■台本

三咲「……お願い、直輝。私のことはもう、放っておいてほしいの」

直輝「そんなこと、できるわけないだろ。俺はずっと三咲の傍に……隣に居続けるって決めたんだ。どんなことがあっても」

三咲「ダメよ。そんなこと言わないで。私……また、直輝の優しさに甘えちゃうよ」

直輝「甘えればいいだろ。俺はのためにここに……いや、生まれてきたんだ」

三咲「直輝……」

直輝「三咲……」

三咲「嬉しいわ。でも、でもね。これだけは無理よ。……絶対に無理なの」

直輝「平気さ。こんなことくらい、二人なら乗り越えられる」

三咲「ありがとう。でも、このままじゃ、直輝にも迷惑が掛かっちゃうわ」

直輝「いくらでもかけろよー」

三咲「直輝。私、あなたのことが好き。世界中の誰よりも愛してるの」

直輝「俺だってそうさ」

三咲「だから……。だからこそ、あなたに迷惑を掛けたくない。この気持ちだけはわかってほしいの」

直輝「……わからない。わかりたくもないよ。俺は三咲を失うくらいなら、死んだ方がマシだ。

……いや、生きていても仕方がない。……俺の、この気持ち、君には届かないのか？」

三咲「届いてるわ。あなたの気持ちが痛いほど届いてる。だからこそ、あなたを受け入れる

……じゃなきゃならぬ」

直輝「どうしてー?」

三咲「……もし、本当に、私と一緒に落ちてくれるって言っなら、最後に、直輝にお願いがあるの」

直輝「……なんだ?」

三咲「私を消してほしいの」

直輝「……俺に、三咲の命を奪えっていうのか?」

三咲「そう。せめて、最後は直輝の顔を見ながら逝きたいの」

直輝「……そんなこと……できない」

三咲「お願いよ! 直輝に命を奪われるなら、私、幸せなまま逝けるわ」

直輝「三咲! もう一度、考えよう! 二人で生き延びる道を!」

三咲「無理よ! 無理! 絶対に無理なの!」

直輝「……こっそり描いていたBLの漫画が家じゅうのみんなに見られたからって、

なんだー? 大丈夫、みんなすぐに忘れるわ」

三咲「いやあああああああ! 無理無理無理無理無理無理無理! もう家に戻れない!」

直輝「そんなことないって! 結構、面白かったし!」

三咲「あああああああ! やめて! 言わないで! ああああああああ!」

もう、いっそ、殺して!」

直輝「落ち着け、三咲!」

三咲「い———やああ———!」

終わり。